



### 1. 法人の健康支援の取組状況に関する指標

① 定期健康診断の徹底および精密検査の受診勧奨	2023年度	前年度	同業種平均値
定期健康診断受診率(*)	100% →	100%	-
精密検査対象者受診勧奨率	100% →	100%	-

(\*)定期健康診断の実施を徹底しています。目標値:定期健康診断受診率100%

② 特定保健指導	2023年度	前年度	同業種平均値
特定保健指導利用率(*) <sup>1)</sup>	100.0% ↑	88.4%	16.0%

(\*)例年、特定保健指導の利用率は30%を下回り、当法人の健康課題となっていました。そこで2022年度から利用しやすい環境整備(健診当日型の特定保健指導の導入等)を図り、2023年度は内服開始・休退職者を除いて100%の利用となりました。目標値:特定保健指導利用率100%

③ 健康イベント(身体面)※女性の健康課題への対策を含む	2023年度	前年度	同業種平均値
身体の健康をテーマに扱ったセミナーの参加者数	6名 ↓	10名	-
「フィジカルヘルスセミナー」(年1回)参加者満足度(*)	100% →	100%	-

(\*)職員自身の健康意識の向上を図るためのセミナー(フィジカルヘルスセミナー)を開催しています。目標値:フィジカルヘルスセミナー参加者満足度100%

④ 福利厚生	2023年度	前年度	同業種平均値
福利厚生(フィットネス利用割引等)利用者数(※北九州病院グループ全体の利用者総数、※職員の二親等以内の家族の利用人数まで含む。)	888名 ↓	1396名	-

⑤ ストレスチェック	2023年度	前年度	同業種平均値
ストレスチェック受検率	94% ↓	96%	-
ストレスチェックの職場別分析結果を受けて職場環境改善に取り組んだ職場*の割合(*)	100% →	100%	-

(\*)仕事や人間関係上で課題のある職場(総合健康リスク値が120を上回る職場)では、必ず職場環境改善を実施します。目標値:職場環境改善取組率100%

⑥ 健康イベント(メンタル面)	2023年度	前年度	同業種平均値
心の健康をテーマに扱ったセミナーの参加者数	173名 ↑	53名	-
「メンタルヘルスケアセミナー」(年1回)参加者満足度(*)	98% ↑	(測定無)	-
メンタルヘルス・マネジメント検定Ⅱ種(ラインケアコース)団体受験合格者数(累積)	84名 ↑	74名	-
メンタルヘルス・マネジメント検定Ⅲ種(セルフケアコース)団体受験合格者数(累積)	70名 ↑	66名	-

(\*)職員自身のメンタルヘルス向上のためセミナーを開催しています。セミナー参加者の満足度は98%と好評を得ています。目標値:メンタルヘルスケアセミナー参加者満足度100%

⑦ 健康イベント(コミュニケーション面)	2023年度	前年度	同業種平均値
コミュニケーションイベント(研修・交流会)参加者数	169名 ↑	89名	-
取組評価率(*) <sup>3)</sup> (「法人のハラスメント対策が積極的だと感じる」と評価する者の割合)	83% ↓	95%	57.0%
レクリエーション費支給実績(単位:万円)*	432 ↑	0	-

(\*)メンタルヘルス不調や離職の要因となりやすい「ハラスメント」を防ぐため、年間を通して繰り返しコミュニケーションの研修を実施しています。目標値:取組評価率80%以上

### 2. 職員の意識・行動変容に関する指標

⑧ 精密検査の受診	2023年度	前年度	同業種平均値
精密検査受診率(*)	68% ↑	52%	-

(\*)受診率50%前後で低迷しておりましたが、2023年度から受診勧奨を強化した結果、昨年より16%アップとなりました。健康診断機関として更なる向上を目指します。目標値:精密検査受診率80%以上

⑨ 健康的な生活習慣の実施	2023年度	前年度	同業種平均値
運動習慣率 ※40歳以上を対象に集計(1回30分以上の汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している者の割合) 1)	17% ↑	17%	18%
身体活動率 ※40歳以上を対象に集計(日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施している者の割合) 1)	37% ↑	35%	45%
間食率 ※40歳以上を対象に集計(朝食の3食以外に間食や甘い飲み物を毎日摂取している者の割合) 1)	29% ↑	25%	27%
朝食欠食率 ※40歳以上を対象に集計(朝食を抜くことが週に3回以上ある者の割合) 1)	24% ↓	26%	21%
飲酒率 ※40歳以上を対象に集計(お酒を毎日飲む者の割合) 1)	17% ↑	17%	18%
喫煙率(*) ※40歳以上を対象に集計 1)	10% ↑	9%	15%
良眠率 ※40歳以上を対象に集計(睡眠で休養が十分取れている者の割合) 1)	63% ↑	63%	61%
高血圧者のうち治療継続中率 ※40歳以上を対象に集計	83% ↑	82%	-

(\*)敷地内禁煙を実施しております。セミナーでの情報発信や、eラーニングの整備を進めるなど禁煙支援を強化しています。目標値:喫煙率10%未満

### 3. 健康関連の最終的な目標に関する指標

⑩ 長期病欠・休業率等	2023年度	前年度	同業種平均値
メンタル不調による長期病欠・休業率(連続1か月以上)	1.2% ↓	1.4%	-
メンタル不調以外による長期病欠・休業率(連続1か月以上)	0.7% ↓	2.6%	-
4日以上の休業を伴う労働災害の発件数	0件 →	0件	-

長期病欠・休業率は、連続1か月以上の長期欠勤・休職者数を全職員数で割った値

⑪ 体調不良を抱えながら働く職員の割合	2023年度	前年度	同業種平均値
健康診断有所見率	76% ↑	75%	-
メタボ該当率(◎)	7% ↑	6%	10%
高ストレス率 <sup>2)</sup>	13% ↓	15%	14%

(◎)効果検証:特定保健指導対策を強化する前(2021年度 9.5%)と後(今回)のメタボ該当率を比較した結果、現時点ではまだ大幅な改善は確認されませんでした( $\chi^2(1)=0.015, n.s.$ )。今後も特定保健指導を継続し、職員の健康促進に向けた取り組みをさらに推進していきます。目標値:メタボ該当率10%未満

⑫ 活力・熱意などを抱いて働く職員の割合*	2023年度	前年度	同業種平均値
※ユトレビト・ワーク・エンゲージメント尺度超短縮版3項目を使用し把握			
活力度(仕事をしていると活力がみなぎると感じる者の割合)	61% ↑	60%	-
熱心度(仕事に熱心であると感じる者の割合)	88% ↑	88%	-
没頭度(仕事をしていると時間が経つのが早いと感じる者の割合)	96% ↑	88%	-

N=北九州病院グループの研修内で実施した職場環境アンケートの回答者数(回答率)

170名(82.5%) 93名(99%)

⑬ 職場の快適度やワークライフバランス	2023年度	前年度	同業種平均値
就労継続意欲(現在の職場でできるだけ長く働きたいと感じる者の割合)	76% ↑	73%	-
パワーハラスメント経験率(現在の職場で過去3年間のパワーハラスメントを受けたと感じる者の割合) 3)	5% ↓	12%	21%
高ストレス職場への該当率(総合リスク値120以上の職場の割合)	16% ↓	17%	-
平均月間残業時間(所定外労働時間)	7.0時間 ↓	10.0時間	-
平均年次有給休暇取得率 <sup>4)</sup>	85% ↑	85%	65%

### 4. 健康支援で解決したい経営課題に関する指標

⑭ 職員のパフォーマンス発揮*	2023年度	前年度	同業種平均値
※SPQ(Single-Item Presenteeism Question 東大1項目版)を使用し把握			
パフォーマンス発揮率(心身の不調による損失が無い場合のパフォーマンスを100%とした場合の、過去4週間の業務パフォーマンスの発揮率の平均)	80% ↑	78%	-

N=北九州病院グループの研修内で実施した職場環境アンケートの回答者数(回答率)

170名(97%) 93名(99%)

⑮ 人材確保・定着	2023年度	前年度	同業種平均値
平均勤続年数(◎) <sup>5)</sup>	10.6年 ↑	9.6年	8.8年
離職率 <sup>6)</sup>	7.5% ↓	10.7%	14.6%

(◎)効果検証:働き続けたいと思える法人を目指して、様々な健康支援・離職対策を講じることで、平均勤続年数は改善傾向にあります。目標値:平均勤続年数10年以上【健康経営全体の具体的な数値目標】

### 5. 社会的価値・企業価値の向上に関する指標

⑯ 魅力的な法人(病院)としての外部評価の向上	2023年度	前年度	同業種平均値
「健康経営優良法人」認定/経済産業省・日本健康会議	認定	認定	-
「健康づくり優良事業所ゴールド」認定/協会けんぽ	認定	認定	-

#### 各目標値の計画期間

2021年4月1日~2025年3月31日(4年間)

(4年ごとに見直しを行います)

同業種(医療・福祉)の全国平均値の参照元

1)全国健康保険協会福岡支部(事業所カルテ2023年度版)  
2)全国労働衛生団体連合会(令和5年全衛連ストレスチェックサービス実施結果報告書)  
3)厚生労働省(令和5年度 職場のハラスメントに関する実態調査報告書)

4)厚生労働省(令和5年就業条件総合調査)  
5)厚生労働省(令和4年賃金事情調査)  
6)厚生労働省(令和5年雇用動向調査)